

令和2年度 金融経済教育研究授業 指導計画

群馬県立太田女子高等学校

【単元名】第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第7章 経済活動のあり方と国民福祉

【対象】1年生(現代社会)

【教科書】高校現代社会 新訂版(実教出版)

【資料集】最新図説 現社(浜島書店)

【単元の指導計画】全3時間

回	授業日時	学習活動	使用教材
①	11月9日(月) 4校時 (13:15~14:20)	【お金を通じてライフプランを考える】 [グループ活動] ・「生活設計・マネープランゲーム」を通じて、20~60歳までの収入と支出をシミュレーションし、平均的なお金の流れを知る。 ・グループごとに考察し、発表する。	・生活設計・マネープランゲーム ・PC ・ワークシート
②	11月13日(金) 4校時 (13:15~14:20)	【国民経済における家計の役割を理解する】 ・家計における支出項目(食料品などの消費支出・税や保険料などの非消費支出)、35歳の1ヶ月の支出例を検討し、家計管理の必要性を理解する。 ・支出例からローンについて考える。 ・雇用形態による収入や社会保障などの違いについて考察し、生涯の見通しを立てる。	・はじめてのお金の時間 ・マナブとメグミのお金のキホンBOOK ・PC ・ワークシート
③	11月19日(木) 2校時 (10:10~11:15)	【消費生活と流通・問題について理解する】 ・最近の買い物について確認する。(財・サービスの理解) ・現金以外の支払い手段(クレジットカード)の仕組みと特徴を理解する。 ・契約と多重債務について理解する。 ・消費者の権利について考える。 ・単元のまとめ。	・はじめてのお金の時間 ・マナブとメグミのお金のキホンBOOK ・PC ・ワークシート

1. 単元名(題材名) 経済活動のあり方と国民福祉

基軸となる問い:「よりよい人生を過ごすためには、消費生活をどうすれば良いだろうか?」

2. 単元観(題材観)

本単元は、学習指導要領の第2章の公民的分野の「国民生活と経済」に含まれる内容である。

この単元では、身近な消費生活を通じて経済活動や金融の働きについて理解させるとともに、金融とは経済主体の資金の融通であることの理解をもとに、金融を通じた経済の活性化について考えさせることを狙いとしている。この単元は私たちが生活していくうえで、望ましい消費生活のあり方について考え理解を深めると同時に、それに伴う消費者問題の解決を目指す能力をつけさせるために設定した。

3. 生徒の実態と指導方針

本校は、ほとんどの生徒が大学を受験し、学力や学習に対するモチベーションが高い。本学級は全体的に明るく活気があり、学習活動に真剣に取り組み、疑問に思うところは互いに相談し解答を導くことが自然にできるクラスである。

学習の順序は基本的には教科書に沿うが、関連のある事柄を合わせて扱うなどして、現在の生活との関連性を強調しながら授業を展開する。

今回の授業にあたっては、生徒がこの範囲をはじめて学ぶことに配慮し、関心・意欲を高めながら理解を深め、経済活動について基礎・基本の習得を目指す。

4. 単元（題材）の指導目標

関心・意欲・態度	「生活設計・マネープランゲーム」を通して経済活動について関心を高め、生涯における収入と支出の関係に気付き、望ましい人生設計について追究できるようにする。
思考力・表現力 ・判断力	消費者の権利の尊重の観点から、消費者主権と契約自由の原則を理解し、消費者問題について解決方法を考えることができる。
資料活用の技能	「生活設計・マネープランゲーム」を通して望ましい家計管理の方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切にまとめられるようにする。
知識・理解	よりよい人生を築くために、消費者問題について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

5. 単元（題材）の評価基準

関心・意欲・態度	人生の疑似体験を通じて自らの将来設計に関心を持ち、生涯を見通した家計管理について考えようとしている。
思考力・表現力 ・判断力	自らの消費生活から課題を見だし、経済活動における消費者問題について多面的・多角的に考察するとともに、国民経済の変化を踏まえ公正に判断し、自分の考えを表現している。
資料活用の技能	生活設計・マネープランゲームや 35 歳時の 1 ヶ月の支出の計算を通して、望ましい将来設計や家計管理の方法について追究し、考察した過程や結果を適切にまとめている。
知識・理解	消費生活、消費者問題の特色について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。また、キャッシュレス化が進む現在の日本において、誰でも多重債務に陥る可能性があることを理解している。

6. 単元の指導計画（全3時間）

時間	○学習内容 ▼学習活動・形態	評価の観点				□評価基準 ■評価方法
		関	思	技	知	
第1時	<p>【本時の指導目標】「お金を通じてライフプランを考える」 【本時の問い（学習課題）】人生にはどれくらいお金がかかるのだろうか。</p>					
	<p>○「生活設計・マネープランゲーム」を通じて20歳代～60歳までの収入と支出のシミュレーションを行い、平均的なお金の流れを知る。</p> <p>▼グループごとに考察し発表する。</p>	●		●		<p>□①生活設計・マネープランゲームを通じて経済活動に関心を持ち、収入と支出のバランスについて考えようとしている。 （関心・意欲・態度）</p> <p>□②生活設計・マネープランゲームにより算出された結果を考察し、適切にまとめている。 （資料活用の技能）</p> <p>■観察・ワークシート</p>
第2時	<p>【本時の指導目標】「国民経済における家計の役割を理解する」 【本時の問い（学習課題）】家計における経済活動の役割にはどのようなものがあるだろうか。</p>					
	<p>○家計における支出項目、35歳時の1ヶ月の支出例を検討し、家計管理の必要性を理解する。</p> <p>○雇用形態による収入や社会保障などの違いについて考察し、生涯の見通しを立てる。</p> <p>▼スライドを見る。</p>				●	<p>□①家計における支出の種類や貯蓄について知り、自らの経済活動について理解している。 （知識・理解）</p> <p>■ワークシート</p>
第3時	<p>【本時の指導目標】「消費生活と流通・問題について理解する」 【本時の問い（学習課題）】安心・安全でよりよい消費生活を送るにはどうすればよいだろうか。</p>					
	<p>○最近の買い物について確認する。</p> <p>○現金以外の支払手段の仕組みと特徴を理解する。</p> <p>○契約と多重債務について理解する。</p> <p>▼グループごとに考察し、発表する。</p>	●			●	<p>□①現金以外の支払い手段について仕組みと特徴を理解している。 （知識・理解）</p> <p>□②キャッシュレス社会が進む中で誰でも陥りやすい多重債務について、自分の考えを記入し、さらにグループで話し合うことで消費者問題について考察している。 （思考力・表現力・判断力）</p> <p>■観察・ワークシート</p>